

## 第5回沼田市市民構想会議（会議概要）

- 1 日 時 平成27年9月29日（火）午後2時から午後4時15分
- 2 場 所 沼田市役所 北庁舎 第二・第三会議室
- 3 出席者 委員23名（欠席13名）  
アドバイザー 篠田暢之氏  
沼田市 副市長、総務部長、市民部長、健康福祉部長、都市建設部長、  
教育部長、財政課長、グリーンベル21活用推進課長  
（事務局：企画課長、企画課長補佐兼企画係長）

### 4 会議概要

#### (1) 沼田市版人口ビジョンについて

各委員からの主な意見

- ・ UIターンの促進については、どのような施策が必要かということだと思っているので、皆さんから意見をいただきたい。私は、受け入れ企業の存在と育成が今後の課題であると思っている。
- ・ 人口の転出抑制、流入促進先を渋川・前橋・高崎に限定することはいかがか。

#### (2) 沼田市版総合戦略について

各委員からの主な意見

- ・ 給付型奨学金の創設については、かなりの規模の財源が必要であり、実行していくためには相当な決意が必要だと思う。
- ・ フェンシングの誘致はよいことだと思うが、市民体育館に入るとロビーには、オリンピック出場選手の写真が飾られており、そのほとんどが陸上選手である。陸上競技場の整備が不足していると感じている。最近では健康増進のため、ランニング等の愛好者が増加している。沼田公園の中にも健康増進を目的としたコースを設定するなど、頭に入れておいてほしい。
- ・ 5か年の目標・計画として、具体的な施策が入っていると思う。NHKの大河ドラマ館の予算化のことが新聞に出ていたが、観光振興のチャンスだと思う。観光によるまちづくりの第一歩であり、この機会を逃さないことが大切である。

次の議題のグリーンベル21の活用についての意見になるが、1階は商業施設を置き、おもてなしに力をいれ、リピータを確保していく。沼田公園（案内所の整備、花壇の整備、看板の整備、下公園の雑木林の伐採）とグリーンベル21周辺の整備（歩道を花で埋め尽くす）を住民との協働で進めていったらどうかと思っている。こうした事業を実施することで集客力の向上に期待ができると思っている。

- ・ 人口減少を抑制するため、若い人の転入促進も必要だと思うが、高齢者が増加しているので、高齢者が充実した生活を送れるということも必要ではないかと思っている。そのためには、老人ホームを設置する。入所している人が病気になるば病院が必要になる。看護師・介護士の育成のための学校が必要になる。その人たちの雇用創出に繋がっていく。川場村のほたか病院がよい例である。

若い人が必要なのは理解できるが、老人が安心して住めるまちづくりを沼田市が率先して実行していくことを考えていったらどうかと思っている。

観光交流については、サラダパークの立地が悪いので、移転を含めて、同様な施設をもう1箇所設置したらどうか。中町にあったJAの直売所は、上之町に移転したことにより売り上げが減少したとの話を聞いている。施設の立地場所に問題があると思う。

- ・ 沼田城についてだが、費用対効果で計る例が多いが、実践の中で行けると思っている。消費単価、周辺観光客数の推計等から実際にいけると思っている。他の地域では周辺の観光人口の流入が少ないが、沼田周辺には1千万人近い観光客が来ている。市にいかに関呼び込めるかが課題であるが、30万人近い客が訪れる確信があり、1人当たりの平均消費単価が3千円とすると9億円になる。その一方では、維持費がかかるという人がある。ボランティアガイドの活用と入場料300円位でペイできると思っている。また、Uターンの心理的効果にも繋がっていると思う。
- ・ 沼田城の復元も必要だが、本市には老神温泉、果樹園、サラダパーク、玉原高原などの観光資源がある。中心部だけでなく、沼田全体の観光振興策を考えてもらいたい。
- ・ 大人が集まっても人は集まらない。子どもは人を集めるとの意見がある。子どもを集める環境をつくれればよいのだと思う。子ども達が遊べる子育て環境の整備が必要だと感じている。
- ・ 沼田城の建設について否定するつもりはないが、子育て世代としては、子ども達が遊ぶことができる遊具の充実も取り上げておいてほしい。

### (3) グリーンベル21の活用について

各委員からの主な意見

- ・ 文化ホールについては、設計上の積載荷重の問題があると思うが、300人位が収容できるホールをつくってほしい。
- ・ 国や県の機関にも入ってもらったらどうか。
- ・ 沼田には子ども達が雨の日に体を使って遊べる場所がない。このような施設は東京、埼玉新都心、横浜など県外にある。沼田にもそのようなスペースをつくってほしいと思っている。
- ・ 時代とともに住民のニーズは変化している。計画期間を5年とした場合であっても、きちっと固定化したフロアスペースとするのではなく、流動的なフロアスペースとして、できることから対応していったらどうかと思っている。  
また、施設のバリアフリーだけでなく、心のバリアも取り払ったらどうかと思っている。それぞれの立場はあると思うが、職員と市民が一体化し、市民が職員に気軽に相談できるような仕組みづくり、また、交流できるようなフロアスペースができればよいと思っている。
- ・ 郵便局が入ったらよいと思う。また、真田展をするのであれば、物産展も併せて行ってほしい。

- ・ 1階を商業施設としているが、中心街区で消費しないのがこのまちの特徴だと感じている。これを解決しないで1階を商業施設とするのはどうかと思っている。そうであれば、先程、委員から発言があったように、1階は様々な人が利用できるコミュニティースペースにしてもらった方がよいと思う。
- ・ 子育て世代としては、全体の施設が充実したうえで、1階は買い物ができる施設としてほしい。

(4) その他

次回の会議は、10月20日（火）午後1時30分から白沢支所4階ホールで開催